



横山 明彦 (YOKOYAMA Akihiko)

東京大学大学院大学院新領域創成科学研究科 教授
東京大学大学院大学院工学系研究科 教授

東京大学工学部電気工学科卒業、
同大学院工学系研究科電気工学専門課程博士課程修了、
工学博士。

東京大学工学部助手、講師、テキサス大学アーリントン校客員研究員、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、東京大学工学部助教授、同大学院工学系研究科教授を経て 2000 年より現職。

主な研究分野は、電力システムの計画、運用、制御、解析の諸分野を対象として、主に計算機によるシミュレーション技術を活用し、応用数学から制御工学、電気工学、社会経済学までの幅広い視点から研究を行っている。現在は、大量の再生可能電源が連系可能な革新的な電力供給システムである日本型先進スマートグリッド「ユビキタスパワーネットワーク」の構築、パワーエレクトロニクス応用電力制御機器 (FACTS 機器) などによる停電影響極小化方策とインテリジェント手法を用いた広域システムのオンライン監視・制御手法の開発、電力自由化における電力システムの送電線容量の評価、連系線マージンの評価、供給信頼度の評価などに取り組む。国内外で論文多数発表。

資源エネルギー庁・電力・ガス基本政策小委員会委員長代理・制度検討 TF 座長、経済産業省・電力・ガス取引監視等委員会・送配電網の維持・運用費用の負担のあり方検討 WG 座長、経済産業省・保安分科会会長・電力安全小委員会委員長、IEC・TC8 国内委員会委員長、大電力システム会議 (CIGRE) 理事、執行委員、日本国内委員会委員長、電力中央研究所 (CRIEPI) 評議員、電力広域的運営推進機関・評議員などを兼任。

電気学会論文賞 (2007) 受賞。